

入院診療計画書(腓体尾部切除術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

病名(他に考える病名)

症状

担当医師 @USERNAME 印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	入院日 (/)	術前日 (/)	手術日 (/)		術翌日~術後2日目	術後3日~4日目	術後4~6日目	術後9日~	退院日 (/)
	術前		術後						
経過	入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	()時に手術室へ移動します	術後はICUに入室します	医師の指示で、水分開始になります	医師の指示で、食事開始になります	少しずつ、日常生活のリズムを戻していきましょう		退院
目標	手術への準備ができています。安心して手術に臨むことができます。	術前日の流れ ()時~絶食 ()時~絶飲食	朝起きてから手術に行くまでの流れ	術後合併症が発症しない。痛みのコントロールができる。	むせりや吐き気がなく、水分を摂取することができます。	食事を摂取することができます	リハビリがすすむ	日常生活が1人でできるようになる	退院後の注意点が理解できる
検査	手術に必要な検査をします	<input type="checkbox"/> おへその周りの毛があれば処理します <input type="checkbox"/> おへそのそうじをします <input type="checkbox"/> 入浴	<input type="checkbox"/> 麻酔科医師の指示の内服薬があれば服用してください <input type="checkbox"/> 排便がなければ洗腸をします <input type="checkbox"/> 前あきの下着、病院のジャマに着がえて下さい <input type="checkbox"/> 弾性ストッキングをはいて下さい <input type="checkbox"/> 化粧やマニキュアを落として下さい <input type="checkbox"/> 歯磨き、めがね、時計、ヘアピン、指輪などを外して下さい <input type="checkbox"/> 髪の毛の長い方はゴムで2つに結んで下さい	術後はICUへ入室します 痛いときは我慢せずに教えてください	レントゲン(胸・腹)→病室でとります 朝、採血があります	必要に応じて採血・レントゲン写真		採血・レントゲン写真 必要に応じて透視の検査	外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。
処置	基本的に処置はありません 禁煙です!!	<input type="checkbox"/> 腕に名前を書きます(医師) <input type="checkbox"/> 準備品の確認をします <input type="checkbox"/> 21時 下剤を内服します(21時以降水分はひかえて下さい) ご不安なときは、ポータルトイレを用意します	<input type="checkbox"/> 弾性ストッキングをはいて下さい 弾性ストッキングは看護師が用意します	酸素吸入 心電図モニター 点滴 尿管 胃の管 ※術中に、首から点滴が入ります	ICUから一般病棟へ移ります	痛み止めの管が抜けます 酸素はマスクを外れ鼻からの吸入に変わります 心電図モニターを外れます 胃の管が抜けます 尿管が抜けます	食事摂取量に応じて、点滴を減らします。術後およそ10日目で点滴は終了の予定です。	傷の部分のドレーンが抜けます	以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・黒い便が出た時 ・高熱が出たり微熱が何日も続いたりする時 わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。
注射	基本的に注射はありません								
内服	飲んでおられる薬はすべて看護師にお知らせください	普段飲んでいる薬は、術前日もいづれも飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。							口次回受診まで、必要な分のお薬が処方されます
食事	入院日の食事制限はありません 食事にアレルギーなどあれば、相談して下さい(希望により、食事変更ができます) 例)ご飯→お粥 牛乳→3-7割	術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません			水分が開始になったら、出来るだけ飲んで飲むようにしましょう。むせたりしないように、注意して飲んで下さい。	このような症状がありましたら看護師にお知らせ下さい 低血糖時の症状 → めまい、冷汗、手足のしびれ、動悸 高血糖時の症状 → 異常に口が渇く		脂っこい食事は、下痢になりやすいです。食べ過ぎず、バランスよく摂取して下さい。	
清潔行動	活動、入浴に制限はありません				シャワーの許可が出るまで体を拭きます	必要に応じて、ポータルトイレや尿器を用意します	ドレーンが抜けなくてもシャワーの許可ができる場合があります 傷の部分は、こすらず、シャワーで流す程度にしてください	入浴のときは…熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。	
リハビリ	スーフル呼吸訓練行って下さい		麻酔から覚めたら深呼吸をして下さい	血栓予防に足の底背屈運動を行って下さい。 つま先を頭の方へ向ける つま先を伸ばす	術翌日 日中はできるだけ起きてみましょう	術後2日目 できれば足を垂らして座ってみましょう 立ちましょう 足ぶみみましょう	術後3日目~ スーフル呼吸訓練も行って下さい 病棟歩行を毎日行いましょう		職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい
説明	病棟での日常生活をご案内します 手術の予定を説明します	<input type="checkbox"/> 麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります <input type="checkbox"/> 手術後に免疫力が下がるので、肺炎球菌ワクチンの接種の説明が入院中にあります	ご家族の方へ病棟フロアのロビーでお待ちください 離れる場合は、待機場所をお知らせください		点滴や尿管、ドレーンが抜けていませんので、座るときは看護師を呼んで下さい。	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。		口栄養指導を行います	口次回予約票を渡します 口リハビリを外します

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名:

続柄: